

TLPTを導入するための課題と方策

Issues and Strategies for Implementing TLPT

岩下央・マネジメント分科会・情報セキュリティ大学院大学

1. 研究概要・目的

サイバーレジリエンスを向上させる取り組みの一つである、TLPT(Thread-Led Penetration Test)を導入するための課題と方策について調査することを目的とした。

2. 背景

図のように、TLPTは金融分野において、国内外で議論を重ねてきている。システムへの侵入に関する防御能力のみに焦点を当てたペネトレーションテストのみならず、システムの侵入後の「人」の対応などにも焦点を当てているTLPTは、サイバーレジリエンスを高めるうえで、有効な手段である。

時系列	国外	国内
2015年	・ G7サイバーエキスパートグループ設置	・ 「金融分野におけるサイバーセキュリティ強化に向けた取り組み方針」公表
2016年	・ 「金融セクターのサイバーセキュリティに関するG7の基礎的要素」公表	・ 金融業界横断的なサイバーセキュリティ演習(Delta Wall)開始
2017年	・ 「金融セクターのサイバーセキュリティの効果的な評価に関するG7の基礎的要素」公表	
2018年	・ 「脅威ベースのペネトレーションテストに関する(TLPT)G7の基礎的要素」公表 ・ 「金融セクターにおけるサードパーティのサイバーリスクマネジメントに関するG7の基礎的要素」公表	・ 「金融分野におけるサイバーセキュリティ強化に向けた取り組み方針(アップデート版)」公表 ・ 「諸外国の脅威ベースのペネトレーションテスト(TLPT)に関する報告書」公表
2019年	・ G7サイバー合同演習実施	・ 「金融機関等におけるTLPT実施にあたっての手引書」公表
2020年		・ 「金融分野のサイバーセキュリティレポート」公表

3. 1年間の活動成果

TLPTについての指針や報告書及び関連研究について調査した。その中で、国外においては多くの指針や報告書及び関連研究を見つけたことができた。しかし、日本国内においては、指針はあるが関連研究があまり見られなかった。また、TLPTを導入するためには、費用面の問題や、人材が不足している点、本番環境を用いた際の悪影響など、課題についても多くあることが分かった。

4. 2年次に向けての研究計画

引き続き関連研究等を調査し、TLPTを導入するための課題と方策について考える。